

「パウロの生き方と願い」  
ローマの信徒への手紙15章  
15:14 兄弟たち、あなたがた自身は善意に満ち、あらゆる知識で満たされ、互いに戒め合うことができる、このわたしは確信しています。  
15:15 記憶を新たにしてもらおうと、この手紙ではところどころかなり思い切って書きました。それは、わたしが神から恵みをいただいて、  
15:16 異邦人のためにキリスト・イエスに仕える者となり、神の福音のために祭司の役を務めているからです。そしてそれは、異邦人が、聖霊によって聖なるものとされた、神に喜ばれる供え物となるためにほかなりません。  
15:17 そこでわたしは、神のために働くことをキリスト・イエスによって誇りに思っています。  
15:18 キリストがわたしを通して働かれたこと以外は、あえて何も申しません。キリストは異邦人を神に従わせるために、わたしの言葉と行いを通して、  
15:19 また、しるしや奇跡の力、神の霊の力によって働かれました。こうしてわたしは、エルサレムからイリリコン州まで巡って、キリストの福音をあまねく宣べ伝えました。  
15:20 このようにキリストの名がまだ知られていない所で福音を告げ知らせようと、わたしは熱心に努めてきました。それは、他人の築いた土台の上に建てたりしないためです。  
15:21 「彼のことを告げられていなかった人々が見、聞かなかった人々が悟るであろう」と書いてあるとおりです。  
\*\*\*\*\*  
1) 善意と知識と自制的な兄弟愛  
パウロは長い論文のような手紙を書き送った相手、ローマに住む信徒たちに対して確認的に「15:14 兄弟たち、あなたがた自身は善意に満ち、あらゆる知識で満たされ、互いに戒め合うことができる、このわたしは確信しています。」とかきました。これはパウロからローマの信徒たちへの確信であり、信頼の表明でもあります。あなた方の中に「善意と知識と自制的な兄弟愛が育っていることを信じています。それゆえ、私の手紙はきっと有益な意味をもつことになるでしょう」というわけです。ここには、

いわば上から目線的な意識はありません。相手に対する信頼があるのです。

2) 異邦人のための祭司の役割を  
そしてパウロは自己紹介をし直しています。彼は自分のことを「異邦人のための使徒」「異邦人のための祭司の務めを役割と認識している」と語ります。  
使徒職、牧師や伝道者などにはいろいろなタイプがあり、いろいろな役割があります。ある人はエルサレムに残ってユダヤ人たちを中心に福音を語る指導者となりましたし、ある人は固定的な教会に留まって、教師的な働きをしました。  
パウロの場合は、福音を知らない人たちのところに出かけて行って福音をかたり、彼らを神に捧げつつ群れを養い育てることが指名でした。  
祭司の役割というのは神と人との間に立って、神の言葉を伝え、彼らを神への供物として整えて捧げることが大事な任務でした。  
どこかに「ここにいる人たちは神の民であり、神に捧げられるべき民」という自覚を持っていました。ですから、教会もその関係者もパウロは自分の所有物のように考えませんでした。それは実にぎっぱりしています。  
有名なメッセージが使徒言行録20章にあります。

3) 言葉と行い、しるしと奇跡、神の霊の力  
パウロ自身の言葉を読んでみましょう。使徒言行録20章です。  
20:17 パウロはミレトスからエフェソに人々をやって、教会の長老たちを呼び寄せた。  
20:18 長老たちが集まって来たとき、パウロはこう話した。「アジア州に来た最初の日以来、わたしがあなたがたと共にどのように過ごしてきたかは、よくご存じです。  
20:19 すなわち、自分を全く取るに足りない者と思い、涙を流しながら、また、ユダヤ人の数々の陰謀によってこの身にふりかかってきた試練に遭いながらも、主にお仕えしてきました。  
20:20 役に立つことは一つ残らず、公衆の面前でも方々の家でも、あなたがたに伝え、また教えてきました。  
20:21 神に対する悔い改めと、わたしたちの主イエスに対する信仰とを、ユダヤ人にもギリシア人にも力強く証ししてきたのです。  
20:22 そして今、わたしは、“霊”に促されてエル

サレムに行きます。そこでどんなことがこの身に起こるか、何も分かりません。

20:23 ただ、投獄と苦難とがわたしを待ち受けているということだけは、聖霊がどこの町でもはっきり告げてくださっています。

20:24 しかし、自分の決められた道を走りとおし、また、主イエスからいただいた、神の恵みの福音を力強く証しするという任務を果たすことができさえすれば、この命すら決して惜しいとは思いません。

20:25 そして今、あなたがたが皆もう二度とわたしの顔を見ることがないとわたしには分かっています。わたしは、あなたがたの間を巡回して御国を宣べ伝えたのです。

20:26 だから、特に今日ははっきり言います。だれの血についても、わたしには責任がありません。

20:27 わたしは、神の御計画をすべて、ひるむことなくあなたがたに伝えたからです。

20:28 どうか、あなたがた自身と群れ全体とに気を配ってください。聖霊は、神が御子の血によって御自分のものとなさった神の教会の世話をさせるために、あなたがたをこの群れの監督者に任命なさったのです。

20:29 わたしが去った後に、残忍な狼どもがあなたがたのところへ入り込んで来て群れを荒らすことが、わたしには分かっています。

20:30 また、あなたがた自身の中からも、邪説を唱えて弟子たちを従わせようとする者が現れます。

20:31 だから、わたしが三年間、あなたがた一人一人に夜も昼も涙を流して教えてきたことを思い起こして、目を覚ましていなさい。

20:32 そして今、神とその恵みの言葉とにあなたがたをゆだねます。この言葉は、あなたがたを造り上げ、聖なる者とされたすべての人々と共に恵みを受け継がせることができるのです。

20:33 わたしは、他人の金銀や衣服をむさぼったことはありません。

20:34 ご存じのとおり、わたしはこの手で、わたし自身の生活のためにも、共にいた人々のためにも働いたのです。

20:35 あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。」

20:36 このように話してから、パウロは皆と一緒にひざまずいて祈った。

#### 4) 開拓伝道者パウロ

こういう生き方をしている指導者に会うことができたなら、それは大きな

励ましになるでしょうね。

私はオーストラリアの神学校に私を推薦し、費用の全てを支払ってくれたヤング宣教師のことを思い出します。

また、私を快く受け入れてくれたビンガム学長のことを思い出します。彼らは牧師であり、教師であり、開拓伝道者でもありました。

私は取るに足りないものなので、まったく模範にはなれませんが、あなたの人生の一部に対して祭司的な「神様に対する整え」のお手伝いができたとすれば

大きな喜びです。

\*\*\*

映像は

<https://youtu.be/UP0wJgEmWbQ>